

令和3年度

事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人 日本薬剤師研修センター

令和3年度事業報告

I 研修・認定関係

1 各認定薬剤師の認定状況

国民の健康に寄与するため、薬剤師が生涯にわたり研修を続け医療専門職としての職能を維持向上させていくことが重要である。公益財団法人日本薬剤師研修センター（以下「研修センター」という。）は、薬剤師の研修に対するモチベーションが維持でき、かつ国民にわかりやすい認定制度の運営に努めた。

なお、令和2年春に始まった新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束には至ってはいないものの、感染防止対策を講じることなどにより、令和3年度はある程度の研修会等を開催することができた。

1) 研修認定薬剤師

あらゆる職域における薬剤師の自己研鑽活動を支援するため、個々の薬剤師の研修実績を認定するものである。

令和3年度の認定薬剤師証交付数は24,564となっている。

薬剤師生涯学習達成度確認試験は令和3年7月4日に行い、226名が受験し126名が合格している（合格率56%）。

2) 漢方薬・生薬認定薬剤師

研修センターと日本生薬学会とが共同で、漢方薬・生薬に関する専門的知識を修得し、能力と適性を備えた薬剤師を認定するものである。

令和3年度の漢方薬・生薬認定薬剤師証交付数は878である。

3) 小児薬物療法認定薬剤師

研修センターと日本小児臨床薬理学会とが共同で、小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から医療チームの一員として小児薬物療法に参画するための能力と適性を備え、さらに患児とその保護者等に対しても適切な助言及び行動ができる薬剤師を養成し、認定するものである。

令和3年度の小児薬物療法認定薬剤師証交付数は183である。

4) 認定実務実習指導薬剤師

六年制薬学教育における実務実習の指導に当たる実務薬剤師を認定するもので、平成17年度に厚生労働省補助事業として発足した。平成22年度からは研修センターの事業として引き継いでいる。

令和3年度の認定証交付数は、新規876（病院薬剤師308、薬局薬剤師568）、更新5,987である。

なお、実務実習のより充実を図るため、認定実務実習指導薬剤師に関する業務は一般社団法人薬学教育協議会の業務に統合することとなり、令和4年3月31日を以て、この業務を廃止した。

2 研修会実施機関の登録と単位の交付

1) 研修会実施機関

集合研修、実習研修、インターネット研修など、研修センターの研修単位交付対象の研修会を計画・実施する機関（団体等）を研修会実施機関とし、約1,600機関を登録していた。令和3年度はこれらの研修会実施機関により研修会等が開催された。

併せて、PECSの稼働準備として研修実施機関の新たな登録を進めた。PECSによる研修実施機関の種類は、集合研修実施機関、学術集会実施機関、eラーニング研修実施機関、ウェブ利用研修（集合研修即時配信）実施機関及びウェブ利用研修（学術集会）実施機関であり、eラーニング研修実施機関を除く4種類の登録を受け付けた。令和4年3月31日現在で延べ858機関（複数区分を登録している場合は重複して計上）の登録を行った。これらPECSの研修実施機関による研修会等の開催は次年度からとなる。

2) 研修単位の交付状況等

令和3年度の研修単位交付対象となる集合研修会の開催件数は、322件である。

3 研修会の開催

研修会は、①座学研修、②DVD集合研修、③eラーニング（VOD配信（Video on Demand）及びストリーミング型）及び④実習・見学の方法で実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応策として、ウェブ会議ツールを使用して集合研修を開催できることとした時限的特例を令和4年3月31日まで適用した。

1) 病態・薬理シリーズ研修

医療薬学の最近の進歩にあわせ、疾患の病態については専門の医師が、疾患の薬物療法の実践については専門の薬剤師が、各々講義することを基本に組み立てた研修会で、令和3年度の座学研修は高血圧症を東京及び大阪会場で開催し、合計116名が参加した。開催予定であった胃がんは東京会場、大阪会場とも中止した。

なお、この収録DVDはeラーニングに供した。また、既収録DVDを用いてeラーニングを行った。

2) 企業薬剤師対象研修会

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）との共催で、①医薬品承認申請実務担当者研修会、②GLP研修会及び③GCP/GPSP研修会を予定していたが、コロナウイルスの感染が継続していることから、今後の会場確保や講師派遣の困難さに鑑み、PMDAと協議のうえ、廃止した。

3) 漢方薬・生薬領域の研修会

(1) 認定取得のための講義研修

一般社団法人日本生薬学会と共同で、漢方薬・生薬認定薬剤師の認定を取得するために必要な47コマ（1コマ70分）の講義を行ったが、DVD集合研修は廃止し、座学及びeラーニングにより行った。ただし、感染状況により座学は9回中2回中止し、eラーニングで代替した。参加者数は座学15名、eラーニング401名であった。

(2) 薬用植物園実習

認定取得又は更新の目的のために、薬用植物園実習を全国約50施設のうち実施可能な施設で実施した。

(3) 認定更新のための研修

令和元年度の漢方薬・生薬研修会を認定更新者用にアレンジした講座を、e-ラーニングに供し、参加者数は1,084名であった。

4) 小児薬物療法認定薬剤師に係る研修会

(1) 小児薬物療法研修

収録及び配信をラジオNIKKEIに委託し、e-ラーニングによる研修を実施した(令和3年4月から12月まで)。配信数は36コマ(1コマ約1時間)で参加者数は222名であった。

(2) 1日実務研修

認定要件である1日実務研修を2施設で実施し、19名が修了した。

5) 認定実務実習指導薬剤師に係る研修会

認定実務実習指導薬剤師養成講習会を、都道府県薬剤師会、都道府県病院薬剤師会、薬学教育協議会等が実施機関となり、449件(講座①、②、③及び④の合計)実施した。

6) その他の研修会(健康サポート薬局研修)

公益社団法人日本薬剤師会と共同で健康サポート薬局研修に係る研修会を実施した。令和3年度の研修修了証発行数は、新規2,906、更新(延長)891であった。

4 薬剤師研修・認定電子システム(PECS)

令和元年度より構築を進め、前年度の令和3年3月15日に薬剤師のPECS登録を開始している。

本年度は次のように順次稼働した。本稼働は次年度の令和4年4月1日である。

令和3年5月10日 1区分(集合研修又は学術集会)の研修実施機関登録申請

令和3年12月1日 複数区分(e-ラーニング研修を除く。)の研修実施機関登録申請

令和4年1月11日 PECSによる認定申請

令和4年2月14日 PECS登録した薬剤師のQRコードの表示

令和4年2月14日 研修会等(令和4年4月1日以降開催のもの。e-ラーニング研修を除く。)の開催申請

稼働に関する説明のため、都道府県薬剤師研修協議会に対して、令和3年4月28日及び令和3年12月15日に連絡会をウェブ(ZOOM使用)によって開催するとともに、適宜、連絡・説明事項を通知した。

5 委員会等の開催

各認定制度の円滑な運営を協議するため各委員会の開催を予定していたが、漢方薬・生薬研修委員会を5回開催したほか、小児薬物療法研修委員会試験問題作成委員会及び薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会・実務委員会合同会議をそれぞれ1回開催したのみであった。なお、いずれもウェブ(ZOOM使用)による開催である。

6 広報

研修センターの広報は、①インターネットホームページ及び②毎月発行する「研修センターニュース」が主要な媒体であり、令和3年度も、その充実に努めた。

その他、日本薬剤師会雑誌など薬剤師の購読が多い雑誌にも掲載し、広報に努めている。

II 出版・監修関係

1 書籍

薬剤師の研修に役立つ書籍を、出版社と協力して編集・発行しており、令和3年度は次の書籍を編集した。

第十八改正日本薬局方医薬品情報 JP DI 2021（じほう発行）

2 受託作成事業及び特別賛助会員が実施する研修会

両者とも、令和3年度の申込みはなかった。

なお、両者は令和4年3月31日限りで廃止した。

III 法人関係

1 理事会、評議員会等

令和3年6月2日（水）に令和3年度第1回理事会を開催（ウェブ併用）し、令和2年度事業報告、令和2年度決算などを審議した。また、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告などを行った。

令和3年6月22日（火）に令和3年度第1回評議員会を開催し、令和2年度決算を審議し、理事を選任した。また、令和2年度事業報告が報告された。

令和3年6月に、決議の省略の方式による臨時理事会を開催し、代表理事の選定などを行った。

令和3年8月18日（水）に令和3年度第2回理事会を開催し、主たる事務所の移転を審議した。

令和4年1月に決議の省略の方式による臨時理事会を開催し、内閣府公益認定等委員会への変更認定申請を行うこととした。

令和4年3月16日（水）に令和3年度第3回理事会を開催し、令和4年度事業計画、令和4年度収支予算などを審議した。また、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告などを行った。

2 賛助会員

令和4年3月31日現在の賛助会員の状況は、賛助会員（個人）341名、特別賛助会員（企業等）31社（団体）である。

3 主たる事務所の移転

入居していた三会堂ビル（東京都港区赤坂1丁目9番13号）が建て替えとなることから、令和3年度中の退去を求められたため、新たな事務所としてマークライト虎ノ門（東京都港区西新橋2丁目3番1号）を選定し、令和4年1月31日を以て移転した。

令和3年度事業報告附属明細書

()内の数字は令和2年度

I 研修・認定関係

1 各認定薬剤師の認定状況

(1) 研修認定薬剤師

令和3年度認定薬剤師証交付数	24,564名 (33,908名)
うち初回認定者	11,077名 (13,100名)
うち更新者	13,487名 (20,808名)
薬剤師生涯学習達成度確認試験 (受験者)	226名
(合格者)	126名

(2) 漢方薬・生薬認定薬剤師

令和3年度漢方薬・生薬認定薬剤師証交付数	878名 (1,087名)
うち初回認定者	97名 (362名)
うち更新者	781名 (725名)

(3) 小児薬物療法認定薬剤師

令和3年度小児薬物療法認定薬剤師証交付数	183名 (202名)
うち初回認定者	38名 (97名)
うち更新者	145名 (105名)

(4) 認定実務実習指導薬剤師

令和3年度認定実務実習指導薬剤師証交付数	876名 (519名)
うち病院薬剤師	308名 (186名)
うち薬局薬剤師	568名 (333名)
令和3年度認定実務実習指導薬剤師更新認定証交付数	5,987名 (1,312名)

(5) 薬剤師研修・認定電子システム(PECS)登録薬剤師数 (令和4年3月31日現在)

130,019名

2 研修実施機関の登録と単位の交付

(1) 研修実施機関

令和4年3月31日現在の登録研修実施機関数(PECS)	858
-----------------------------	-----

(2) 研修会開催計画書等受理数

集合研修	8,322件 (7,089件)
実習研修	109件 (78件)
グループ研修	718件 (1,098件)
自己研修	3,791件 (3,986件)
インターネット研修	90件 (84件)
認定実務実習指導薬剤師養成講習会	
講座①	74件
講座②	71件
講座③	71件
講座④	233件

3 研修会開催

1) 座学(講義)形式による研修会

(1) 病態・薬理シリーズ研修(東京、大阪)

- ① 胃がん 中止
- ② 高血圧症 116名

(2) 企業薬剤師対象研修会

廃止

(3) 漢方薬・生薬研修(東京)

15名

2) ビデオ・オン・デマンド(VOD)研修

(1) 病態・薬理シリーズ研修

- ① 肺がん(平成30年度前期収録) 11名
- ② 国際感染症Ⅰ(平成30年度後期収録) 8名
- ③ 血液がん(令和元年度前期収録) 11名
- ④ 国際感染症Ⅱ(令和元年度後期収録) 6名
- ⑤ 国際感染症Ⅲ(令和2年度後期収録) 7名

(2) 薬剤師が知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識

4名

(3) 薬剤疫学入門セミナー

9名

(4) 医薬品医療機器法に基づく医薬品の安全対策

8名

3) e-ラーニング

- ① 肺がん(平成30年度前期収録) 202名
- ② 国際感染症Ⅰ(平成30年度後期収録) 133名
- ③ 血液がん(令和元年度前期収録) 153名
- ④ 国際感染症Ⅱ(令和元年度後期収録) 108名
- ⑤ 国際感染症Ⅲ(令和2年度後期収録) 210名

(2) 薬剤師が知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識

104名

(3) 薬剤疫学入門セミナー

154名

(4) 医薬品医療機器法に基づく医薬品の安全対策

131名

(5) 漢方薬・生薬研修

- ① 漢方薬・生薬薬剤師講座28(令和元年度の更新者向け版) 1,084名
- ② 令和3年度漢方薬・生薬研修 401名

(6) 小児薬物療法研修

222名

4) 実習研修

(1) 薬用植物園実習(初回認定対象者を除く。)

167名

実習実施施設: 全国薬科大学、公的機関植物園、企業植物園など約50か所

(2) 小児薬物療法1日実務研修

19名

研修受入施設登録数

2施設

5) 健康サポート薬局研修(修了証交付)

新規 2,906名

延長(更新) 891名

[平成28年度からの累計

新規 15,389名]

延長(更新) 1,008名]

4 委員会

- (1) 研修認定制度委員会(開催なし)
- (2) 漢方薬・生薬研修委員会(5回:いずれもウエブ)
令和3年8月31日(火)
令和3年9月10日(金)
令和3年10月8日(金)
令和3年12月10日(金)
令和4年3月10日(木)
- (3) 小児薬物療法研修委員会(開催なし)
- (4) 小児薬物療法研修委員会試験問題作成委員会(1回:ウエブ)
令和4年2月15日(火)
- (5) 認定実務実習指導薬剤師認定委員会(開催なし)
- (6) 薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会(1回:ウエブ)
令和3年8月23日(月)実務委員会と合同開催
- (7) 薬剤師生涯学習達成度確認試験実務委員会(1回:ウエブ)
令和3年8月23日(月)運営協議会と合同開催

5 広報

- (1) 「研修センターニュース」の発行(毎月約3,800部)
- (2) インターネットホームページによる事業の紹介
- (3) メールマガジン配信(毎月約33,000件)

II 出版・監修関係

- (1) 編集書籍
第十八改正日本薬局方医薬品情報 JP DI 2021(令和3年6月編集(結じほう発行))
- (2) 受託作成事業
申込数 0件
- (3) 特別賛助会員が実施する研修会の監修
監修申請件数 0件

III 法人関係

1 理事会、評議員会

(理事会)

令和3年6月2日 令和3年度第1回理事会(ウエブ併用)

- (1) 令和2年度事業報告
- (2) 令和2年度決算
- (3) 薬剤師研修支援システム拡充費用積立預金に係る代表理事が定める令和2年度の積立額の確定
- (4) 特別顧問規程の一部改正について
- (5) 認定実務実習指導薬剤師制度の業務移管について
- (6) 内閣府提出資料(事業報告等に係る提出書)
- (7) 評議員会の開催並びに理事候補者の選任
- (8) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況(報告)
- (9) 薬剤師研修・認定電子システム(PECS)の状況について(報告)
- (10) 企業勤務薬剤師向け研修会について(報告)
- (11) 認定薬剤師の認定状況について(報告)

令和3年6月 令和3年度臨時理事会(決議の省略方式による)

決議があったと見なされた日 令和3年6月23日(水)

- (1)代表理事の選定
- (2)業務執行理事の選定
- (3)役員手当月額の決定

令和3年8月18日(水) 令和3年度第2回理事会(ウェブ併用)

○主たる事務所の移転

令和4年1月 令和3年度臨時理事会(決議の省略方式による)

決議があったと見なされた日 令和4年1月25日(火)

○事業の実施、廃止及び変更を行うための内閣府公益認定等委員会への変更認定申請

令和4年3月16日(水) 令和3年度第3回理事会(ウェブ併用)

- (1)令和4年度事業計画
- (2)令和4年度収支予算
- (3)特定費用準備資金
- (4)職員の定年延長措置
- (5)育児・介護休業規程の一部改正
- (6)代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況(報告)
- (7)薬剤師研修・認定電子システム(PECS)の本稼働(報告)
- (8)認定薬剤師の認定状況等(報告)

(評議員会)

令和3年6月22日(火) 令和3年度第1回評議員会

- (1)令和2年度決算
- (2)理事の選任
- (3)令和2年度事業報告(報告)
- (4)薬剤師研修・認定電子システム(PECS)(報告)
- (5)認定薬剤師の認定状況等(報告)

2 賛助会員

令和3年3月31日現在

賛助会員(個人)	341名	(367名)
特別賛助会員(企業等)	31団体	(32団体)

特別賛助会員一覧(五十音順)

あすか製薬株式会社	大正製薬株式会社
アステラス製薬株式会社	大日本住友製薬株式会社
イーエヌ大塚製薬株式会社	田辺三菱製薬株式会社
一般社団法人医薬総合研究会	株式会社ツムラ
株式会社MDPS	一般財団法人日本医薬情報センター
大塚製薬株式会社	一般社団法人日本女性薬剤師会
クラフト株式会社	公益社団法人日本薬剤師会
クレコンリサーチアンドコンサルティング株式会社	有限会社ビックロコ
興和株式会社	株式会社ファーマシィ
小太郎漢方製薬株式会社	藤本製薬株式会社
佐藤製薬株式会社	富士フィルム富山化学株式会社
三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	学校法人北陸大学 薬学部
株式会社じほう	株式会社メディセオ
公益財団法人杉浦記念財団	株式会社薬事日報社
合同会社スマスタ	湧永製薬株式会社
全薬工業株式会社	